

家庭での学習の仕方(5・6年生)

◎ 音読

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
(言葉を正しく、気持ちを込めて、聞いている人に意味がわかるように)
- おうちの人にきいてもらい、音読カードに読んだ印をつけましょう。
- まだ勉強していないところもどンドン読みましょう。



自主学习

◎ 国語

- 今までに習った漢字を、お手本を見ながらていねいに練習しましょう。
- 同じ漢字だけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。
例 「きへん」「さんずい」など、部首が同じ漢字を書く。
「明るい」←→「暗い」のように、反対の意味の言葉を書く。
- 国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。
調べたらノートに意味も書いておきましょう。
- 視写をしましょう。教科書の文や詩、子ども新聞などをノートに書き写しましょう。
文のかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。



◎ 算数

- その日に学習したところの問題を、家でも復習しましょう。
- 小数のかけ算やわり算、分数のたし算やひき算、かけ算やわり算の練習をしましょう。
計算したら、答え合わせまで自分でしてみよう。(おうちの計算機などを使って)
- 面積や体積の公式を使った問題の練習をしましょう。
- まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」考えて、やり直しましょう。

◎ 社会・理科

- 授業で勉強した内容の復習をしましょう。大事な所に線を引きながら、教科書をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に、教科書の内容をノートにまとめてみましょう。
- 教科書の少し先の内容の予習をしましょう。
- 教科書のQRコードをタブレットで読み取って、大事なことを動画でも確認してみましょう。



◎ その他

- おうちで買っている問題集があれば、挑戦してみましょう。(答え合わせ、まちがい直しもする)
- 火曜日に配られる「子ども新聞」を読みましょう。いろいろな記事を読んで、文章の書き方のお手本にしましょう。読んだ記事についての感想や自分の考えを、ノートにまとめてみましょう。
- 自主学习でタブレットを使うときは、「使っているいいアプリ」から選んでみましょう。
- 家にある図鑑や本も使って、調べる学習にも挑戦しましょう。

